



〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-12 TEL.03-3262-4161(代表) FAX.03-3262-4160  
New York Admissions Office 228 East 45th Street 7th F1 New York NY 1007

[www.wayokudan.ed.jp](http://www.wayokudan.ed.jp)



# WAYO KUDAN

*Kudan Regular Class  
Kudan Global Class*

## 2020

和洋九段女子中学校



# Think Globally, Act Locally

AI, IoT……そして、シンギュラリティ。

これからの時代、他者が導き出した理論と自らのそれとの妥協点を探りながら、

価値あるものを生み出すタフな協働性が求められます。

協働性を備えるには、人の心の痛みや喜びに寄り添うことのできる温もりのある共感力、

家族や世界をより良き方向へ導くために、

自分に何ができるのかを常に考え行動する主体的な創造力が不可欠です。

和洋九段の授業は、主体的に協働しなければ成立しないスタイルです。

勉強させられているうちは、何も学べていないのと同じです。

あなたは「何」をしたいのか。自ら学ぶ日々を、多くの友と始めてみませんか？

## For realizing your dreams

夢の実現のために

## For your precious people

大切な人のために

## For diversifying societies

多様化する社会のために



# 120 Years of History

## 120年余りの歴史の中で、社会の未来を見据え 新たな教育を創り上げてきたのが和洋の伝統です

1897年、女性が活躍する社会を見据えて、堀越千代は和洋裁縫女学院を創立。  
そこで学んだ多くの女性が、全国各地で次の時代を切り拓く人材を育成する学校を設立してきました。  
そして21世紀の社会で活躍するため、2017年からは新たなコース制による改革がスタートしています。

平成29年  
和洋学園創立120周年

平成19年  
和洋学園創立110周年

平成9年  
和洋学園創立100周年

平成8年  
校訓「先を見て齊える」制定  
SISTER ST. SCHOLASTICA'S COLLEGE 姉妹校提携

平成6年  
オーストラリアでのホームステイ及び語学研修開始

平成4年  
校名を和洋九段女子中学校高等学校に改称以降、3期にわたる校舎新築工事を実施

昭和50年  
中高二貫教育開始

昭和30年代  
校舎新築工事を実施

昭和24年  
和洋女子専門学校が大学に昇格  
和洋女子大学発足に伴い、和洋女子大学附属九段女子中学校・高等学校に名称変更

昭和22年  
新教育制度により、和洋九段女子中学校発足  
翌年和洋九段女子高等学校発足

昭和21年  
和洋女子専門学校が千葉県市川市国府台に移転

昭和11年  
和洋裁縫女学院を和洋女子学院に改称

昭和3年  
高等師範科を和洋女子専門学校に改組

大正時代  
校友会 むら竹会 発足

明治40年代  
文部省より中等教員受験資格認定  
次いで中等教育無試験検定による特典が与えられた  
この時期より多くの家庭科教員を輩出し、  
卒業生によって各地に学校が設立された

明治34年  
和洋裁縫女学院に改称  
和裁・洋裁の他に、国文・漢文・習字・数学・英語、  
生花・刺繍・教育学などの科目も開講され、  
いわゆる「和洋型教育」が展開された

明治30年  
堀越千代により和洋裁縫女学院創設  
洋裁教育を学校教育に取り入れ、  
全国的に注目をあびた

## 「考えること・実行すること」のすばらしさ

私たちは毎日どのくらい物事を考えているのでしょうか？  
社会に出ると、昨日やったことをトレースしたり、以前に使ったアイデアを再利用したり、人のやり方をまねしたり、少し楽をして考えない生活を送るようになりがちです。  
でも中高生は違います。何事にも関心があり、多くの物事を吸収しながら日々成長しています。この時代に自分で考え、自分の意見や主張を形成する習慣を身につければ、生涯豊かな生活を送ることができます。本校は全科目においてPBL型授業を導入し、毎日の生活において私たちを取り巻く多くの社会問題の解決に真剣に取り組み、体験を通して考えることの喜びや素晴らしさを実感できるような多くのコンテンツを用意しています。  
女子校という環境は、真っ直ぐで他者への思いやりのある人を育てるには、格好の場です。私たちと共に、さまざまな事柄を考え、よりよい生き方を求めて学校生活を送ってみませんか？

和洋九段女子中学校高等学校 校長 中込 真

## Grow Through Global Education

世界標準の教育で、楽しく成長できる学びをはじめよう。

				
Thinking Skills 自分の頭で考える能力	English 実際に使える英語	Communication コミュニケーション能力	Science Literacy 科学的な視点のリテラシー	ICT Literacy 情報社会を生きるリテラシー





## 世界中で活躍することを夢見て Advanced Classに挑戦

グローバルクラス 中学2年

Our dream is to be successful and active people all over the world. That is why we are taking on the challenge of the advanced class.

# 01 Messages

## KUDAN GLOBAL CLASS

### INTERMEDIATEから ADVANCEDにレベルアップ

今、日本にはさまざまな国の人がやってきています。日常生活で外国の方々と接する機会が増える中、私も英語を当たり前と話して、海外の人ともコミュニケーションが取れるようになりたいと思い、グローバルクラスのある和洋九段に入学しました。

中1ではINTERMEDIATEクラスで学んでいましたが、あるときネイティブスピーカーの先生が話す内容がすんなりと理解できて、勉強した単語がスラスラと書けるようになっていたのに気づき、もっと勉強したいという気持ちが湧いてきました。1学期から3学期、英語の成績が伸びたことも、もっとレベルアップできるという自信にもつながりました。そこで、中2からADVANCEDクラスへ移行するためにレベルアップ講座を受けました。

その講座では、アメリカで使われている教科書を使用し、実践的な英語力を養っていきます。ネイティブスピーカーの先生が英語で授業を行うので、日々家庭学習などで身につけた英語力を試す場でもあります。授業は英国と米国、

両方の英語を学びます。ネイティブスピーカーの先生方も、アメリカ人、カナダ人など、異なる文化的背景を持つ方々なので、多様な世界を教えてください。

### 将来、自分を必要としてくれる 世界で活躍するために

最近、マララ・ユスフザイさんの本を読みました。マララさんは、パキスタンで武装勢力の脅威にさらされながら、子どもたちが教育を受ける権利を訴え続けた人です。私と同じくらいの年齢なのに、なんと強いのだろうと感動しました。まだ原文で読むことはできませんが、もっと英語を勉強して、もしも翻訳家になることができれば、このような人の活躍を世界で紹介することができるのではないかと夢が膨らみます。

英語の習得は、単語や文法などの知識を身につけるだけでなく、自分の将来を切り開いてくれる最初の鍵です。今、イメージしている将来の自分の姿は、世界のさまざまな問題を解決できるような人です。行く先はどこかの国、と決めるのではなく、そのとき自分を必要としてくれる場所で活躍したいと思っています。

## POINT



### 和洋のグローバルクラスについて

グローバルクラスの英語はレベル別に分けて実施しています。英語をある程度習得している生徒の英語の授業は、オールイングリッシュで展開します。初めて英語を学ぶ生徒は、日本語を交えた授業から開始しますが、段階を踏んでオールイングリッシュの授業に移行します。本科クラスからの移籍も可能です。ネイティブ教員が担当し、読解の授業ではテキストの内容について英語でディスカッションを行い、理解を深めます。ジャーナル(英語での日記)と洋書の読書課題も課されています。文法の授業ではネイティブ教員が英語でテキスト内容を教え、実際にその文法事項を使用しているアクティビティも行います。日本人教員もサポートにつき、生徒の理解の様子を見てネイティブ教員の補助をして生徒の理解を助けています。

日頃からホームルームも含めネイティブ教員に接する機会が多く、ネイティブスピーカーと積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢はどのレベルの生徒にも身につけています。授業内の英語でのディスカッションを通し、単なる英語のスピーキング力に留まらず、議論の深め方を学んだり、プレゼンテーションも行うので発信力も身につけていっています。積極的に英語で話し、理解してもらおうとする姿勢が養われ、難しい表現を使ったり時には間違えたりしながら英語で表現しようと果敢にチャレンジしています。

## 新しい経験に 緊張と期待が高まる SDGsと修学旅行

本科クラス 中学2年

The Sustainable Development Goals class and the school trip will make us experience new things and raise our expectations of how to act in society.

# 02 Messages

## KUDAN REGULAR CLASS

### SDGsのプロジェクトを通して 社会と関わる

中1の終わりから、SDGsプロジェクトの準備が始まりました。これは(Sustainable Development Goals)すべての人にとってより良い世界を作るために、さまざまな取り組みを行っている企業を訪問して、その内容を調べて発表するプロジェクトです。

SDGsには「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」など、17の目標があります。一人1つのテーマを選んで企業を選び、訪問するのですが、私はまず、商品に興味のある企業に注目しました。今、アポイントを取ろうとしているのはダイソン株式会社とヤフー株式会社です。ダイソンは生活に密着した商品を開発しているので、実際に使ってみたいと思います。Yahoo! JAPANは世界中の膨大な情報をどのように集めているのか、とても興味があります。会社にアポイントを取るのとても緊張しますが、新しい経験であり、どうしたら私たちの研究に協力していただけるのかを考えて工夫することも、とても楽しいです。

### 期待が膨らむ シンガポール修学旅行

今楽しみにしているのは、来年5月のシンガポールへの修学旅行です。シンガポールは周辺の国から多様な民族を受け入れているので、日本とはまったく違う文化に触れることができるのではないかと今から期待しています。また、シンガポールではSDGsに関するどのような取り組みがあるのかも気になるようです。

私の住む築地には、たくさんの外国人がやってきます。「フィッシュマーケットへはどうやって行けばいいですか?」と聞かれることも多いのですが、緊張してしまうことが多くて、十分に築地の魅力を伝えることができません。築地にはマーケットだけでなく、本願寺や伝統的なお祭りがあることも伝えられるようになりたいと思っています。築地だけでなく、日本のさまざまな場所には、私もまだ知らない文化や、美味しい食べ物があると思います。私自身もいろいろな経験をして、日本についての理解を深め、世界の人に日本の魅力を伝えられるようになりたいです。

## POINT



### WAYO × SDGs × PBL

2030年、子どもたちが社会人としての一歩を踏み出すころ、世界はどうなっているでしょうか。SDGsは達成されているのでしょうか。——持続可能な社会の実現に向けて、子どもたちは今、何をすべきでしょうか。和洋九段のSDGsの取り組みは、授業や行事を通して「知る」ことから始まります。中学1年では自身が最も関心を寄せる「目標」について知り、中学2年での企業訪問につなげます。中学2年では先駆的な企業の取り組みを学び、現実社会との接点を得ます。中学3年ではシンガポール研修旅行で世界との接点を得るとともに、「豊かで便利な社会」から「真に豊かな社会」になるために、自身ができることを考え、行動を起こします。これはさらに、和洋九段のルーブリックの最終到達点である「社会に貢献できる人物」を目指す高校での諸活動につながっていきます。SDGs学習にはPBLが伴います。自身で「目標」を選び、訪問する企業もグループディスカッションを経て選び、シンガポールでの学びを反映させた「WAYO×SDGs」の提案を作り上げる——そこには常に各自の問題意識があり、「みんなで解決しよう・より良くしよう」という強い想いがあり、その熱意や意欲を共有する集団があります。現在の世界が抱える様々な問題を解決し、将来の世代に渡って「誰一人取り残さない」社会を形成していくには、今、すべての人々の意識変革や行動変容が求められています。和洋九段では、SDGsを通して世界を見る力を養い、自ら社会を変革していく行動力——新しい時代を生きる人々に必要とされる力を育てていきます。

## どんな道に進んでも 自分と社会に貢献できる 論理的な思考力

2013年度卒  
慶應義塾大学大学院 薬学研究科 2019年卒

No matter what path you may choose in life, what is important is that you are able to contribute to society in a meaningful way.



# 03 Messages

GRADUATE

生物や化学が好きで、子どもの頃からいろいろなものを観察していた私が、将来を考えたときに思い浮かんだのが「なにかを研究する人」でした。そこで薬学部に進み、修士課程では薬物動態の研究室に入りました。ときに泊まり込むこともある研究室生活は厳しかったけれど、論理的思考力や体力が鍛えられたと思います。

就職活動では、百貨店の総合職に内定をいただきました。薬学とはまったく違う分野で、面接官も面食らっていましたが、私は面接のときにこう答えました。「薬は病気の人に対して効果を示すものだけれど、私は病気ではない人たちのクオリティ・オブ・ライフ(QOL)をあげる仕事をしたい」と。たとえば洋服は毎日身につけるものですが、新しい服に袖を通しただけで気分がアップして、免疫力があがることも考えられます。日常生活に関わるあらゆるものを扱っているのが百貨店であり、私はそこで人のQOLをあげる仕事をしたいと思ったのです。

### 皆と同じでは生きていくのが難しい 人と違う個性が生きる時代へ

中高時代、私は美術部に所属していました。大学で選択した薬学の世界とは、一見違いよう

に思いますが、実はアートとサイエンスは密接に結びついています。立体を絵画のような二次元で表現するときには、その構造を数学的・物理的に捉える必要があります。薬学部で体験した実験・考察・検証の過程は、論理的思考力を身につけるトレーニングでした。それをアートの世界に置き換えると、誰に・何を伝えたいかをロジカルに表現することで、人の心に届く作品が創作できます。さらに研究する上で不可欠なクリティカルな思考を日常生活に取り入れると、人とは違った視点を持つことができます。たとえば絵を描くときでも、人と違った視点があれば、既存概念を打ち壊すような新しい作品を創り出すこともできます。

美術部の仲間たちは看護系や建築系、音楽や服飾系など、さまざまな分野に進んでいます。美術部に限らず、学校生活で自由に将来を思い描くことができたのは、先生方が一人ひとりとじっくり向き合い、個性を伸ばしてくれる学校だったから。私たちがこれから出会う社会は、皆と同じことに安心しては生きていくのが難しい時代だと思います。それぞれが熱中できることを見つけ、個性を伸ばすことが、自分自身にとって社会にとっても「貢献」につながるのではないのでしょうか。

### POINT



#### 左文章の卒業生作「欲張り」

修士論文執筆と平行して描いた最新作のうちの一点です。かえるは和洋生時代からよく描いていたモチーフ。私のファッション(靴)に対する飽くなき欲望を現すために、脚を6本に増やしました。描くことは自分を知ることだと、つくづく思っています。

### STEAM教育

STEAM教育とは、Science(科学)・Technology(技術)・Engineering(工学)・Mathematics(数学)にArt(表現)を加えた新しいスタイルの学習活動です。大きな変革の時期にある社会では、変化を受け入れるだけでなく、自分の力で新しい変化を生み出していくことができる人材が求められています。分野横断的に自らの探究を深めていく力は、これまでの卒業生の中にも息づいています。

## 司法試験、出産、子育て すべて乗り越えられたのは 仕事が好きだったから

1997年度卒  
立教大学法学部 2001年卒  
弁護士有資格者  
2019年7月東京都労働委員会に勤務予定

Because of the love of my profession, I was able to persevere over multiple challenges such as the National Bar Examination, child birth and child rearing.



# 04 Messages

GRADUATE

私の高校時代の夢は2つ。ひとつはファッションモデルになること。もうひとつは法曹界です。サスペンスドラマが好きだったので、事件に関わる法律に興味を持っていたのです。

夢の選択は、大学入学と同時に第一段階に進みました。親の許しを得てモデル事務所へ所属し、同時に法律は人々が幸せに生きるためのルールであることにも気づきました。モデルとして活躍するのは厳しいけれど、弁護士資格は手に職をつけることにもなる。そこで大学4年から司法試験の勉強をスタートさせました。

司法試験に合格したのは26歳のとき。27歳で第一子を出産したので、弁護士資格を取得したときは子育て中です。フルタイムで働くのは難しかったので、国選弁護や法律相談、塾の講師などをしながら家計を支えています。

2人目を出産し、子育てが一段落した頃、文部科学省管轄の原子力損害賠償紛争(ADR)センターの調査員として働きました。これは原発被害者の相談を受ける機関です。私は保育園に子どもを預けながら都内の職場に通勤する毎日過ごし、結果、1年半の勤務で処理案件は97件になりました。

### 女性のキャリアの中断も しなやかに乗り越える和洋生

法曹界には、バリバリ働く女性たちがたくさんいます。中にはキャリアのために女性としての幸せを諦める人もいます。一方、同級生たちは芯を持ちながら、自分らしくしなやかに生きています。和洋九段は、衣食住についてしっかりと教えてくれましたが、それは生きていく上で一番大事なことでした。また、子育てを経験したからこそ、仕事の大変さは楽に乗り越えられるような気がしています。司法試験の勉強やモデルの仕事、そして子育てで何ひとつ諦めなかったのは、私にとっての「仕事」が、自分らしくいられる楽しい時間だから。思うように仕事ができなかった20代を経て、40代になろうとする今、「さあ思う存分仕事をしよう」という気持ちです。弁護士資格を持っていれば、行政や企業の法務部門など、さまざまな働き方があります。私の選択はたまたま「法律」でしたが、好きなことなら続けられるはず。女性にはキャリアの中断を選択しなければならぬ時期もありますが、自分の好きなことや得意なことがあるなら、何歳になっても活躍できる場はあります。自分らしい選択をし、しなやかに生きること。それこそ私が和洋九段での生活から学んだことです。

### POINT



昭和初期の本校教員

### 自立した女性の伝統

明治30年、本校のもととなる和洋裁縫女学院が堀越千代によって創設されました。「女性が学問を学ぶことが珍しかったこの時代に、女性が自らの力で職を得て社会を生き抜くために学問の力が必要だ」と考えた堀越は、「和洋型教育」を確立させ数多くの女性を教員として輩出しました。新しい社会に適応し学びのスタイルを変化させながらも、自立した女性を育成する“和洋のDNA”は今も受け継がれています。

# PBL (Problem Based Learning)

「キミはどう思う?」。自由な発想を育む“双方向対話型授業”を行います。

和洋九段では、生徒が自ら考えることを促す、PBL型のアクティブ・ラーニング(双方向対話型授業)を全教科で実践しています。教員から投げかけられる「トリガー・クエスト」は、生徒の知的好奇心を刺激する起爆剤となります。「なぜ?」「どうして?」という問いかけから、さらに思考を深める対話型の授業が生徒たちの意欲をかき立て、決して受け身ではない主体的な学びの楽しさが、やがてクラス全体の議論へと発展していきます。「思考力」「協働性」「プレゼンテーション力」など、これからの時代に不可欠となる力を実践的に身に付けることができる授業です。


## 和洋九段のPBL型授業とは?

なぜ0で割ることを考えないの?

核抑止力についてどう考える?

いろんなことを吸収し勉強します

**1** 目標の提示・基礎知識の吸収




単元の目標が提示され、考える材料となる基礎知識を教科書やプリント、資料集などを通じて身に付けます。講義形式だけでなく、事前に宿題が課されて調べたりしながら、たくさんの知識を吸収します。

みんなで意見を出しあいます

**3** 情報収集・意見の構築

**4** グループディスカッション




タブレットや資料集などを用いて自分の考えを構築していきます。相手を納得させられるよう、考えは論理的にまとめます。

**5** 意見の選択

**6** プレゼン資料作成

**7** プレゼンテーション

**8** レポート作成


最も合理的で説得力のある意見をグループ内で話し合って選びます。

選んだ意見をグループ全員で話し合い、他のクラスメイトに納得してもらえるようなプレゼンテーション用の資料を作成します。

クラス全体の前で代表者が発表を行い、多くの意見をクラス全体で共有します。

全体のまとめとしてレポートを作成し、振り返りを行うと共に内容の定着を図ります。

## 和洋九段の授業はPBL以外にも体験がいっぱい!

和洋九段のアクティブ・ラーニングはPBLだけにとどまりません。ペアを組んで意見交換をしたり、ゲームをしたり、時には歴史上の人物になりきったりしながら、「受け身の授業」とは違う学びを行っています。全身を使って身に付けたものは記憶に強く印象づけられ、効果的な学びへと繋がっていきます。

Think-Pair-Share      Game/Simulation      Role Play/ Skit      Lab



# Problem Based Learning

## 和洋九段の教育方針

## THE RUBRIC OF WAYOKUDAN

確かな成長を促す目標設定を、独自の「ルーブリック」で評価します。

和洋九段が実践する「ルーブリック」とは、本校が育成したいと考える人物に近づくための課題を表しています。このルーブリックに沿って、各教科・単元それぞれの課題と、その課題を評価する観点・基準が示されます。学校行事においても、その行事ごとの課題等がルーブリックで示され、教員間のみならず生徒とも共有します。これにより、主体的に知識を獲得し、論理的にものごとを解決する人材を育成します。

和洋九段のルーブリック (評価基準)

FOR ALL	A3	B3	C3
FOR US	A2	B2	C2
FOR ME	A1	B1	C1
	認識・理解 Cognition Comprehension	思考・探究 Consideration Research	表現・創造 Expression Creativity



# 本科クラス

## KUDAN REGULAR CLASS

「探究するココロ」で考える豊かな毎日があります。

本科クラスでは、毎日の授業にPBL型の思考力を重視したスタイルを取り入れています。企業や海外の国々との交流、世界の抱える大きな問題への取り組み、華道、茶道、礼法の授業など、題材は多種多様ですが、すべては「自分で考える喜び」「他人に伝えられることの感動」の獲得を目指しており、なぜ、どうしての探究に充実感を感じる学校生活を送ることができます。もちろん、根底にあるのは女子校ならではの、きめ細かい生活の見守り、少人数制を生かした補習・講習による徹底した学習支援です。確かな基礎力に基づき、思考し表現する力を身につけ、他人に寛容で思いやり溢れる人格の完成を目指す、多様な価値が氾濫する社会にあっても確固たる自信を持って、充実した毎日を送る人を育てます。



### PBL型授業の徹底

生徒自ら考える問題提起型の授業を通じて、表現力、コミュニケーション力、思考力を高める。

### プレゼンテーション能力育成重視

中3から総合学習の1時間を「プレゼンテーション」とし、資料の使い方、表現力までを意識した授業を展開。

### Career Education

生徒一人ひとりの夢や将来像と一緒に考えながら、個々が希望する多様な進路に対応した指導を実施。

### ジャパノロジー

小笠原流の礼法、茶道、華道などを授業で体験するほか、日本について考える機会の多い学習環境を提供。

## English Education Curriculum

### 目標とする資格

JUNIOR HIGH SCHOOL		SENIOR HIGH SCHOOL	
中1	英検[4級~] GTEC[G2] TOEIC[200] IELTS[2.0]	高1 ▼ 高3	英検[準2級~] GTEC[G4~] TOEIC[550~] IELTS[4.5~]
中2	英検[3級~] GTEC[G3] TOEIC[200~400] IELTS[3.0~3.5]		
中3	英検[準2級~] GTEC[G4] TOEIC[400~500] IELTS[3.5~4.5]		



# グローバルクラス

## KUDAN GLOBAL CLASS

グローバルセンスを培う、質の高い学びに出会えます。

グローバルクラスでは、海外帰国生など英語を話せる生徒とこれから英語を学ぶ生徒、どちらも共に学ぶことが可能です。英語の授業については、最初からレベル別授業を実施します。英語をある程度習得している生徒の英語の授業は、オールイングリッシュで展開します。初めて英語を学ぶ生徒は、日本語を交えた授業から開始しますが、段階を踏んでオールイングリッシュの授業に移行します。本科クラスからの移籍も可能です。



英語の授業はアドバンスとインターメディアイトに分かれて実施

### ADVANCED

英語で授業が受けられる生徒

- 目標レベル 英検準1級以上
- 入学時 英検準2級程度
- 日本語取り出し授業あり
- 英語時間数(中1→8時間/中2・3→9時間)

### INTERMEDIATE

将来、英語で授業を受けたい生徒

- 英検準2級程度で、アドバンストへ移籍可
- 入学時 英語力不問
- アドバンストへ移行のための講座あり
- 英語時間数(中1→8時間/中2・3→9時間)

## English Education Curriculum

### 目標とする資格

JUNIOR HIGH SCHOOL		SENIOR HIGH SCHOOL	
中1	英検[3級~] GTEC[G3] TOEIC[200~400] IELTS[3.0]	高1 ▼ 高3	英検[準1級~] GTEC[G6~] TOEIC[720~] IELTS[5.0~]
中2	英検[準2級~] GTEC[G4] TOEIC[400~500] IELTS[4.0~4.5]		
中3	英検[2級~] GTEC[G5] TOEIC[550~600] IELTS[4.5~5.0]		

# 1 2 Admission Policy

## アドミッションポリシーとカリキュラムポリシー

THE RUBRIC OF WAYO KUDAN  
A軸を中心とした学習活動

FOR ALL	A3	B3	C3
FOR US	A2	B2	C2
FOR ME	A1	B1	C1
	認識・理解	思考・探究	表現・創造

### 興味を持って新しい学び方を学ぶ。6年間の土台づくり期間。

多くの生徒たちがはじめて体験するPBL型授業。能動的に学び、協働しなければ得られない「知」を、どのように手にするのか、最初は戸惑う生徒も多いことでしょう。しかし本校の教育のあらゆる場面で、本来あるべき学習の姿勢は磨かれます。本校の中1、中2は、主体性を持って学ぶ土台づくりをする期間です。



#### 2科・4科 学力試験

入学生が最も多い、一般的な入試のパターンです

#### 英語(スピーキング含む)

すでに英語を学んでいる受験生向けの試験です

#### 2科目選択入試

国社や算理など数種類の中から得意な型で受験します

#### 1科目選択入試

国算社理から一番得意な科目を選択して受験します

#### 到達度確認テスト(A入試)

本校作成のA軸問題集から中心に出題される試験です

#### 適性検査型入試

公立中高一貫校の入試問題に準じて出題される試験です

#### 思考力型入試

写真やグラフの読み取りから論理性や創造性などを計ります

#### PBL型入試

PBL型授業に参加し、共感力やプレゼン力など他の試験では評価しにくい力を計ります

### 本科クラス KUDAN REGULAR CLASS

伝統的価値観に基づく女子教育と21世紀型教育とを融合した、最先端の教育を実践するクラスです。

### グローバルクラス KUDAN GLOBAL CLASS

英語ネイティブスピーカー教員による英語教育を基本とした、世界標準型の教育を指向するクラスです。

### 和洋九段の英語教育 English Education

中学ではグローバルクラスと本科クラスに分かれて、ネイティブスピーカーと日本人教員による英語・英会話指導・英検対策など、きめ細かい指導をしております。高校では大学入試改革に向けて見直しを図った英語教育を実践し、必要な実力を総合的に身につけることを目標に日々取り組んでいます。和と洋のバランス感覚を持った真の国際人の育成を目指しています。



本校ネイティブスピーカー教員

#### 日本文化を学ぶ

日本文化の授業では、茶道・華道・書道を体験することにより礼儀作法を身に付けます。また自国の伝統や文化を理解し、世界に発信できる資質や能力を養います。



#### ブリティッシュヒルズ研修

中1は5月に初めての宿泊研修として福島県のBritish Hillsを訪れ、英語漬けの2日間を過ごし、英語を使う楽しさと難しさを体感します。



#### PBL型授業スタート

PBL型授業は和洋九段の生活において、あらゆる場面で行われます。基本的な情報を共有したら、初歩的な実践に取り組み、考えを共有する喜び、常に考えることの大切さ、自分を表現することの楽しさを理解します。

#### タブレットPC

今年度の入学生からiPadを貸与しています。PBL型授業などにおける情報収集や、プレゼンテーション資料作りのために使用したり、学校からの諸連絡、教科からの課題などが個人のタブレットに配信されたりします。タブレットを用いた先進的な授業を通して、これからの時代に必須のICTスキルを身に付けることができます。また、高校でスムーズにe-ポートフォリオ(18ページ参照)の入力が行えるよう、中学段階からタブレットを通じた情報の蓄積と振り返りを行います。

#### 講習と補習

長期休業中に100以上の講座を開設。入試対策等レベルに合わせた講座を選択できます。学習をより深く探究するための放課後補習も行っています。

#### スタディステーション

最大20:00まで自由に利用することができる質問対応型自習室。集中できる個別ブース型の机を200席以上設置。学習カウンセリングを受けることもできます。

#### 英語 TS 授業

英検5級から準1級までの級別の授業実施によって、合格や得点アップのためのテクニック、コツの習得に特化したプログラムです。

#### グローバル教育

SDGs、開発途上国への支援活動など、世界的な機関が主催する活動に参加しています。他国からの訪問団との交流も積極的に行っています。

#### GEP I

学校の近くには、各国の大使館、グローバル企業の本社などが多数存在します。生徒たちは個人やグループで交渉し、訪問を通じて視野を広げ、世界の大きさと自分のサイズを知るところからスタートします。



# 3年 1年 Curriculum Policy

## カリキュラムポリシー

THE RUBRIC OF WAYO KUDAN  
B軸を中心とした学習活動

FOR ALL	A3	B3	C3
FOR US	A2	B2	C2
FOR ME	A1	B1	C1
	認識・理解	思考・探究	表現・創造

### 自己の特質を発見し、探究を深める。知識の発展的な熟成期。

学ぶことの面白さを知った生徒たちは、一人ひとりが「自分が求めるものは何か」を探究しはじめます。それぞれ自分の特質であり、将来につながる探究かもしれません。中3、高1はそれぞれの将来につながるコースに分かれ、自分自身が得た「知」を熟成させ、発展させることのできる大切な試行錯誤の時間です。



キリンホールディングス シンガポール社

### STEAM教育とは

Science (科学)・Technology (技術)・Engineering (工学)・Art (表現)・Mathematics (数学)を統合的に学習するSTEAM教育に中学校で取り組みます。教科横断型の課題を解決・達成するために、グループで試行錯誤しながら共有するイメージを形にしていきます。また、PDCAサイクルを通じて創造力・協調性・表現力といった、実社会で必要となる非認知能力を育みます。

### 希望の進路を実現するために

中1・中2を通じて得た様々な経験は、自分が将来どのように生きていくかを考えるきっかけとなります。中3でもシンガポール修学旅行など様々な経験をすると共に、複数回の担任や学年主任との面談や対話を通じて自分の将来設計を考え、高校でのコースを選択します。高校からはグローバルコース、本科コースに加えて、サイエンスコースが設置されています。高校でも豊富な語学研修プログラム、プロジェクト型PBLなどの「21世紀の実学」を学びます。



### 中3 シンガポール修学旅行(GEPⅡ)

シンガポール国立大学の学生とのB&Sプログラムをはじめ、現地の同世代の学生との交流により、使える英語と異文化理解を高めます。また、GEPで訪問した企業などのシンガポール支社への取材を通じて、日本との違いや企業ごとに行っている工夫を知ることにより国際的な課題解決の手段を学びます。



### シセフ CIESF

和洋九段の生徒会では、公益財団法人CIESFを通じてカンボジアの教育支援に関わっています。校内にある飲料の自動販売機は、企業との協力の下で、資金援助を行うことに役立っています。そして何より生徒が毎日眺めたり買ったりすることで、社会とのつながりを意識することに役立っています。



### 中3 自主活動

「なりたい自分について考える」をテーマに、10年後の自分の姿を考えていきます。和洋九段の学びのキーワードである社会貢献についても考えます。自分の利益だけを求める生き方ではなく、他者と共存し、10年後の社会に対して何が出来るのかを1年間かけて考えます。

### 高校1年より3つのコース選択

中学校でのさまざまなプログラムを経て、自分の進路を見据えた選択を行います。各コースに応じた探究活動を行い、卒業後にはそれぞれの分野での社会貢献を目指します。

### 本科コース REGULAR COURSE

#### 自分を見出すリベラルアーツ

PBL型(双方向対話型)の授業を軸に、学力を伸ばします。2年生からは、選択授業を展開し、多様な進路に対応します。1・2年生を通して研究論文に取り組み、効果的な発表技能も身につけます。

目指す進路 文系・理系の国公私立大学

### サイエンスコース SCIENCE COURSE

#### 研究者としての素養を培う

1年生で基礎知識と実験技能を身につけます。2年生からは専門分野を追求し、科学的思考を高めます。目の前で起こっている現象に興味を持つこと、現象から原理原則を考えられるようになることを目指しています。

目指す進路 先端理系・医薬業獣医系の大学

### グローバルコース GLOBAL COURSE

#### 海外進学を視野に語学力強化

中学校グローバルクラスの延長線上に位置し、英語中心の学校生活を送ります。英語の授業はオールイングリッシュです。短期から長期のバラエティに富んだ海外研修プログラムを用意するほか、英語資格試験対策を行います。また、学校内で、海外大学への進学サポートも行います。

目指す進路 海外大学・英語で学ぶ国内大学

### 豊富な語学研修・留学プラン

生徒たちの語学上達への欲求、グローバル感覚の取得のために、短期から1年程度までの留学プログラムを準備しています。

- オーストラリア
- ニュージーランド
- アメリカ
- カナダ
- マルタ
- ほか



### プロジェクト型PBL 地方創生プログラム

高校1年では、長野県での民泊体験と農業体験の研修をきっかけとして、プロジェクト型PBLに取り組みます。現地の方々や大学の先生にもご協力いただきながら、これからの地域社会についてディスカッションを行い、「人口減少に悩む地域を元気にするにはどうすればよいか?」という難易度の高いプロジェクトに取り組みます。



長野市民新聞で本プロジェクトが紹介されました

### e-ポートフォリオ

日々の学習や課外活動、校外での取り組みを通じた学びをタブレットに記録・整理していきます。年度末のホームルームではそれらを用いて一年間を振り返ることによって成長を客観的に実感し、新たな「主体的学び」へと繋げていきます。これらは新大学入試においても評価の対象となる予定です。

# 2年 3年 Diploma Policy

## カリキュラムポリシーとディプロマポリシー

THE RUBRIC OF WAYO KUDAN  
C軸を中心とした学習活動

FOR ALL	A3	B3	C3
FOR US	A2	B2	C2
FOR ME	A1	B1	C1
	認識・理解	思考・探究	表現・創造

### 社会で活躍する自分が見えてきた。躍動感を持った進路決定期。

さまざまな探究活動やプレゼンテーションを行い、社会貢献プログラムにも挑戦する高2、高3は、社会を垣間見ることのできる時期です。社会人とも関わり、刺激を受ける中で、より具体的に自分が社会で活躍する姿を思い描きはじめてとき、一人ひとりが躍動感を持って、自分の進むべき道を選択します。



### 海外大学への進学

和洋九段では、グローバル時代に活躍するための進路選択の機会を設けています。2019年度より海外協定大学推薦制度(University Partnerships for Alternative Admissions: UPAA)に加入しました。この制度を利用することによって、イギリスやアメリカの名門20の協定校に出願することが可能になります。また同時に最大4校まで出願でき、合格通知は年内(およそ11月~12月の時期)に発行され、3月末まで有効であるため国内の大学との併願が可能になります。(希望者対象のプログラムです。)海外協定大学推薦制度(UPAA)を利用して進学可能な大学の一例としてQS版世界大学ランキング2019年度版にて29位の名門校The University of Manchesterやイギリスで最も美しい大学と言われるUniversity of Exeterなどがあります。



### プレゼンテーション・探究活動を通じてグローバル社会に対応する力を育成

海外大学の進学やその先にあるグローバル社会で活躍するために、進学準備やプレゼンテーションのスキルアップをする必要があります。和洋九段ではグローバルクラスの生徒を中心に、総合的な学習の時間や英語授業内でのPBLにて多くのプレゼンテーションをする機会を設けています。また、年に1回中学1年から高校2年までの全学年で英語プレゼンテーションコンテストを開催しています。本科クラスの生徒も参加し、代表者は講堂で全体発表を行います。高校3年生のグローバルコースでは海外大学進学に向けて探究活動を行います。内容は多岐に渡り、英語力強化のためのTest Strategiesを学び、Application Essayの書き方を深め、Application Interviewのための練習をNative English Teachersと行う時間となります。和洋九段は皆さんのグローバルな活躍を力強くサポートする体制となっています。

### プロジェクト型 修学旅行

広島における平和学習に参加するとともに、広島・京都を中心としたプロジェクト型探究研修に取り組みます。中学での日本文化の体験から、自分たちが深く考えてみたいテーマのフィールドワーク、ディスカッション、レポート作成、発表を行います。



### 社会貢献プログラム

「未来の日本をプロデュースする力」を身に付けるべく、これまで身に付けたプロジェクト型の問題解決の方法を用いて、自分が最も関心のあるテーマにアプローチします。問題を発見し、協働し、外部と交渉しながら解決策を模索していく、「自分の理想的な未来像」を追い求める、壮大なプロジェクト型PBLです。



### プレゼンテーション

今まで作り上げた研究の成果を、文化祭を始めとするいろいろな場所で発表します。創造力をフルに使いながら表現することに意義を見出し、自由に自分の考えを表現できる喜びを実感します。日本語のみではなく、英語による発表の場もあります。

### グローバル社会での英語の活用を目指して

和洋九段では、日常会話からアカデミックイングリッシュまでグローバルコース、本科コースの双方で学べる環境にあります。グローバルコースでは海外大学進学に対応する教科書を活用し、ネイティブによるnote takingなどのアカデミックスキルを身につけています。本科クラスでは日本人英語教員とネイティブによるTeam Teaching授業でディスカッションを通じて会話を向上させています。これからの社会で必要とされる4技能全てを練習する機会を多く用意しています。

#### 英語のスコア目標

- グローバルコース **CEFR B2 以上**
- 本科コース **CEFR A2 以上**

\*CEFRとは、外国語のコミュニケーション能力を表す指標のことで、国際標準規格として世界中で活用されています。

### 探究活動

2020年からの大学入試は、探究活動を強く意識した事柄への深い理解が求められます。私たちは過去20年以上に渡り、論文作成授業の「自主活動」に取り組んできました。授業科目の探究のみならず、探究を行う態度、データ処理、論理的な文章の展開など、全教員で指導します。



H30年度 高3  
最優秀論文  
「感覚の不思議/視覚・嗅覚・味覚の世界」

優秀論文  
「沙漠化と私達の未来/沙漠化のメカニズム」  
「子供の未知なる力」

### 進路指導

和洋九段では2020年の大学入試改革に備えて、早い時期からPBL型のアクティブラーニングを実践しており、その成果は昨年度までの入試結果にもすでに現れ始めています。今春はお茶の水女子大学の公募推薦入試や早稲田大学のAO入試など、プレゼンテーションが重視される入試で見事に合格を勝ち取りました。また、豊富な指定校推薦枠を利用して進学する生徒も多く、例年80%以上の生徒が大学・短大へ現役で進学しています。多様化する大学入試を常に意識した進路指導を心がけています。

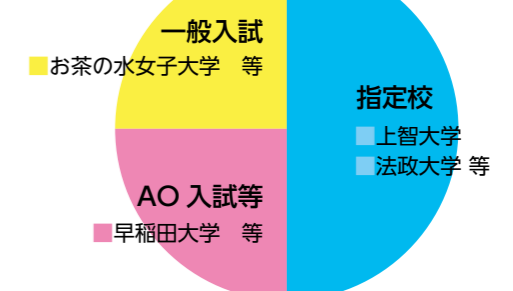
#### 昨年度の主な合格実績と指定校推薦枠

##### 合格実績

- お茶の水女子大学 ■ 明治大学 ■ 法政大学 ■ 津田塾大学
- 茨城大学 ■ 青山学院大学 ■ 学習院大学 ■ 日本女子大学
- 早稲田大学 ■ 立教大学 ■ 東京女子大学
- 上智大学 ■ 中央大学

##### 指定校推薦枠

- 上智大学 ■ 法政大学 ■ 成蹊大学 ■ 東京女子大学
- 青山学院大学 ■ 学習院大学 ■ 成城大学 ■ 津田塾大学
- 中央大学 ■ 東京理科大学 ■ 日本女子大学



# School Uniform 制服

2017年にリニューアル! ブルーを基調とした、バリエーション豊富な制服です。



TIE  
X  
BLAZER



TIE  
X  
SWEATER



RIBBON  
X  
COAT  
X  
TOTE BAG



RIBBON  
X  
SWEATER  
X  
RUCKSACK



RIBBON  
X  
VEST  
X  
TOTE BAG



TIE  
X  
SHIRT  
X  
LUNCH BAG

# Annual Events 年間行事

和洋九段の学校生活はワクワクがいっぱい。春夏秋冬いろとりどりのイベントが咲き誇ります。

4

April

始業式  
入学式  
新入生歓迎会

5

May

遠足・研修・修学旅行  
■中1 プリティッシュヒルズ  
■中2 企業訪問(GEP)  
■中3 シンガポール  
■高1 農業体験  
■高2 広島・京都  
■高3 日帰り自主研修  
中間考査

6

June

体育祭

7

July

期末考査  
自主活動発表会(高3)  
終業式  
夏期講習

8

August

オーストラリア語学研修  
(希望者)  
夏期講習

9

September

始業式  
授業参観  
球技大会  
創立記念日  
文化祭

10

October

中間考査  
千代田区アダプトシステム

11

November

英語スピーチコンテスト  
作文発表会  
芸術鑑賞会

12

December

期末考査  
送別会  
終業式  
冬期講習

1

January

始業式  
百人一首大会(中学)

2

February

合唱コンクール(中学)

3

March

期末考査  
卒業式  
修了式  
春期講習  
マルタ島語学研修(希望者)



# Club Activities クラブ活動

## 体育部門 Sports Clubs

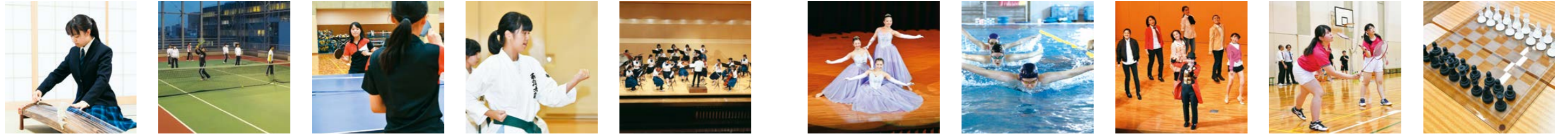
- 体操部
- バレーボール部
- ダンス部
- バasketボール部
- バドミントン部
- 水泳部
- 陸上部
- テニス部
- 空手道部

## 文化芸術部門 Cultural Clubs

- 演劇部
- 管弦楽部
- コーラス部
- 茶道部
- 書道部
- 華道部
- 写真部
- 美術部
- 箏曲部
- ギター部
- 英語部
- 生物部
- 家庭部
- 放送部
- メディア研究部

## 同好会 Special Interest Clubs

- 歴史同好会
- 人形箱同好会
- 文芸同好会
- チェス同好会
- 落語同好会
- 卓球同好会



# School Facilities 施設紹介

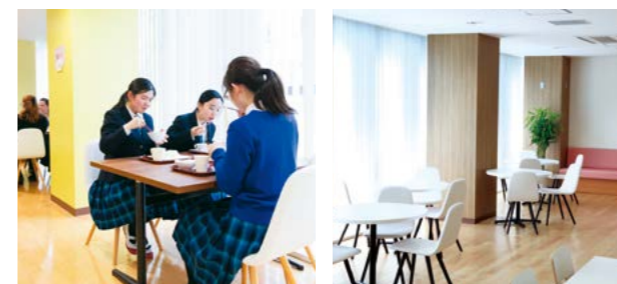


# Cafeteria

成長期の生徒にふさわしい栄養バランスのメニューを家庭科教諭・養護教諭・校医を交えて作成。「食育」を毎日のランチで実践しています。「食物」の授業を履修している高校生が、後輩のために考案したメニューも提供されます。郷土料理の日や、世界の料理の日などもあり、楽しいランチタイムです。

### メニューの種類が豊富です！

- チキンのハーブピカタ
  - カラフルフィッシュのオープン焼き
  - かぶらのソースの冷製パスタ
  - チーズタッカルビ丼
  - ゴロゴロ野菜のドライカレー
  - オムライス
- など



朝学習 朝テスト	8:30 ~ 8:40	4時限	11:50 ~ 12:40
出欠点検	8:40	昼休み	12:40 ~ 13:25
1時限	8:50 ~ 9:40	5時限	13:25 ~ 14:15
2時限	9:50 ~ 10:40	6時限	14:25 ~ 15:15
3時限	10:50 ~ 11:40	SHR	15:20 ~ 15:35
		放課後	クラブ、補習・講習、その他


# Event Information 受験生のためのイベント

日時	対象学年	イベント	授業見学	校舎見学	予約
6/19 水 10:20 ~ 16:00	全ての方	体育祭	—	—	要予約
6/22 土 10:00 ~ 11:00	5・6	英語授業体験会・学校説明会	終了後 ~ 11:50	—	
7/12 金 19:00 ~ 20:00	4・5・6	イブニング説明会	—	18:30 ~ 19:00	
7/28 日 9:30 ~ 12:30	4・5・6	授業・クラブ体験会	—	—	
8/31 土 15:00 ~ 17:00	4・5・6	Test Strategies 体験講座	なし	なし	
9/7 土 15:00 ~ 17:00	4・5・6	Test Strategies 体験講座			
9/14 土 10:00 ~ 11:20	5・6	PBL型授業体験会・学校説明会			
9/14 土 15:00 ~ 17:00	4・5・6	Test Strategies 体験講座	なし	なし	
9/21 土 15:00 ~ 17:00	4・5・6	Test Strategies 体験講座			
9/28 土 9:00 ~ 16:00	全ての方	文化祭	—	自由見学可	
9/29 日 9:00 ~ 16:00					
10/5 土 15:00 ~ 17:00	4・5・6	Test Strategies 体験講座	なし	なし	要予約
10/19 土 10:00 ~ 12:00	6	入試対策勉強会(別室にて説明会あり)	終了後 ~ 12:40	—	
11/9 土 10:00 ~ 12:00	6	入試対策勉強会(別室にて説明会あり)	終了後 ~ 12:40	—	
11/30 土 10:00 ~ 12:00	6	入試対策勉強会(別室にて説明会あり)	終了後 ~ 12:40	—	
12/22 日 8:30 ~ 12:00	6	プレテスト・入試説明会	—	終了後 ~ 12:50	
1/11 土 10:00 ~ 11:00	6	入試対策勉強会(別室にて説明会あり)	終了後 ~ 11:50	—	
2/22 土 10:00 ~ 11:00	4・5	新5・6年生対象学校説明会	終了後 ~ 11:50	—	—

ご予約 TEL 03-3262-4161  
お問い合わせ URL www.wayokudan.ed.jp

ご案内

- 全てのイベントが予約制となります。(文化祭を除く)
- 全てのイベントにおいて上履きは不要です。
- 全てのイベント会場は本校校舎です。(体育祭を除く)



イベント情報は、上のQRコードから簡単にアクセスできます!

## 2020年度 入学試験要項

くわしい入試要項(特待生制度、試験時間、合格発表等)は本校ホームページでご確認ください。

	帰国生入試		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
試験日	11月16日(土)	12月26日(木)	2月1日(土) AM	2月1日(土) PM	2月2日(日) AM	2月2日(日) PM	2月3日(月) PM	2月10日(月) AM
集合時間	13:30	8:30	8:30	15:00	8:30	15:00	15:00	8:30
募集人員	本科 5名 (特待選抜あり)		30名	40名	10名	10名	(特待・一般) 計10名	5名
試験科目	・国算英の三科目から二科目を選択、または英語1科目 ・面接		□ 国・算 □ 国・算・社・理 □ 英語・英語スピーキング □ PBL型	□ 2科目入試 ① 国・算 ② 理・算 ③ 国・社 ④ 英語・英語スピーキング から1つ選択	□ 国・算 □ 国・算・社・理 □ 思考力	□ 1科目入試 ① 国 ② 算 ③ 社 ④ 理 から1つ選択	[特待選抜] □ 国・算 □ 国・算・社・理 [一般選抜] □ A入試 □ 国・算	□ 適性検査 □ A入試 □ 国・算
願書受付	11月1日(金) ~ 11月14日(木)	11月1日(金) ~ 12月24日(火)	1月10日(金) ~ 各試験集合時刻の1時間前まで					
出願資格	・2020年3月までに小学校卒業もしくは卒業見込みの女子 ・原則として、海外の学校に1年以上在籍し、帰国後3年以内の者		2020年3月までに小学校卒業見込みの女子					
合格発表(web)	11月16日(土) 19:00	12月26日(木) 14:00	2月1日(土) 16:00	2月1日(土) 21:00	2月2日(日) 16:00	2月2日(日) 21:00	2月3日(月) 21:00	2月10日(月) 16:00
入学手続	12月27日(金) 18:00まで		2月6日(木) 18:00まで				2月10日(月) 18:00まで	

スライド合格について グローバルクラスで不合格の場合でも、本科の合格ラインに到達している場合、本科での合格とする。

受験料 25,000円 帰国生入試及び一般入試に複数回出願されても1回分の納入で結構です。

# Access

